

文化講演会

10月24日(月)恒例の文化講演会が行われた。

この講演会は本校の伝統行事であり、毎年各界の第一人者をお招きしてご講演を賜っているが、今年は本校OBで、警視総監、皇宮警察本部長、内閣危機管理監などの要職を歴任され、現在東京大学客員教授である伊藤哲朗氏をお迎えしてお話しをいただいた。

ご講演の題は本校の館歌の一節にもある「皇国の為に世の為に」というもので、主として皇宮警察本部長を務められたときのご経験から、日本という国の姿をお語りいただいた。

先生は、皇宮警察のトップとして間近に拝見した天皇陛下のお姿や、地方行幸に随従したときのエピソードをお語りになったが、そこからは非常に真摯で誠実な天皇陛下のお人柄が伝わってきた。また歴代天皇の御製を、魅力的な声で拝誦され、御製にこめられた天皇陛下の思いを説明された。



生徒たちは普段縁遠い「天皇」という存在と、その天皇を「国民統合の象徴」としていただく日本という国の「かたち」について、それぞれ思いをめぐらして熱心に聞き入っていた。



最後に3年生で総務の笹田君が「本日聴かせていただいた先生のお話を忘れず、我々修猷館生一人一人が、自分なりの考えを持って、生きていきたいと思えます。」と謝辞を述べた。